

令和5年度 学校評価策定総括資料

自己評価の評価は、 A (できている) B (どちらかと言えばできている) C (どちらかと言えばできていない) D (できていない)
 アンケートの評価は、 A (そう思う) B (どちらかと言えばそう思う) C (どちらかと言えばそう思わない) D (そう思わない)

数値は%・()内は昨年度

領域	自己評価の評価規準	主な方策	自己評価	アンケート等対象者	参考とする教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容	A	B	C	D	
I 教育目標の具現化・円滑な学校運営	1	<p>■東小は、学校(学年・学級)運営や学習指導、その他の教育活動の工夫改善に取り組み、学校教育目標(元気あふれる東っ子の育成)や目指す学校像(信頼を高める学校)の具現化に向かって、前進している。</p>	B	職員	学校教育目標や目指す学校像を具現化するため、学校(学年・学級)運営や学習指導、その他の教育活動の工夫改善に取り組んでいる。	45.5 (53.0)	51.5 (44.1)	3.0 (2.9)	0.0 (0.0)	
				児童	自分は、元気あふれる子、自分で考えようとする子、思いやりがあるなど心が豊かな子、手洗いや歯みがき、体を鍛えるなど健康な生活を目指す子のどれか一つ以上に近づいている。	38.3 (58.0)	49.5 (35.8)	9.9 (4.5)	2.3 (1.7)	
				保護者	子供は、元気あふれる子、自分で考えようとする子、思いやりがあるなど心が豊かな子、手洗いや歯みがき、体を鍛えるなど健康な生活を目指す子のどれか一つ以上に近づいている。	42.8 (40.9)	53.5 (53.6)	3.6 (5.4)	0.1 (0.1)	
	2	<p>■東小は、信頼の向上に努めるため、積極的にマナーアップの実践に取り組んでいる。</p>	<p>◆児童から信頼される教師となり、保護者から信頼される教育を行い、地域から信頼される学校を創ることを念頭に置き、常に自らの振る舞いを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、丁寧な言葉遣いの率先垂範 ・電話のさわやかな受け方の実践 ・何事にも誠意ある丁寧な対応 ・児童の心に寄り添い、温かい人間関係の構築 	A	職員	信頼の向上に努めるため、マナーアップの実践に取り組んでいる。	54.5 (67.7)	45.5 (23.5)	0.0 (5.9)	0.0 (2.9)
					児童	先生方のあいさつや言葉遣いは、よい。	64.2 (69.5)	27.0 (25.9)	6.5 (2.9)	2.1 (1.7)
					保護者	東小の教職員の対応には、好感がもてる。	42.6 (41.6)	51.6 (50.9)	4.7 (5.5)	1.1 (2.0)
	3	<p>■東小は、教職員それぞれが能力を発揮し、各自の分掌(役割)や各学年が連携・協力して、質の高い学校づくりを目指す体制を構築している。</p>	<p>◆教職員それぞれがチームワーク行動を発揮して、組織力の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア段階に応じたチームワーク行動の重点の実践 ・毎日のグループウェアでの指示伝達・連絡事項の確認、情報共有、共通行動 ・深い学びを追求する教材研究 	A	職員	自己の職務の役割を認識し、チームワーク行動を発揮しながら、学校運営に参画している。	51.5 (50.0)	45.5 (47.1)	3.0 (2.9)	0.0 (0.0)
					児童	先生方は、力を合わせて、仕事をしている。	79.5 (84.1)	16.6 (14.1)	2.6 (1.4)	1.3 (0.4)
					保護者	東小の教職員は、チームワークがよい。	30.3 (23.5)	60.7 (64.8)	6.4 (9.5)	2.6 (2.2)

領域	自己評価の評価規準	主な方策	自己評価	アンケート等対象者	参考とする教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容	A	B	C	D	
II 学力を向上させる学習指導	4	<p>■東小は、教職員研修を積極的に推進し、教職員の資質を高め、指導力及び業務遂行力の向上を図っている。</p>	B	職員	主体的・意欲的に研鑽し、教育実践や業務の遂行に進歩がみられる。	30.3 (50.0)	66.7 (44.1)	3.0 (5.9)	0.0 (0.0)	
				児童	先生との授業や学校生活は、楽しい。	70.5 (75.5)	22.6 (19.3)	4.3 (3.5)	2.3 (1.7)	
				保護者	子供は、先生との授業や学校生活が楽しいと感じている。	49.3 (47.7)	45.9 (42.9)	3.7 (6.8)	1.1 (2.6)	
	5	<p>■東小は、教育課程や指導方法を工夫改善し、児童の主体的に学習に取り組む態度を高め、学力の定着に努めている。</p>	<p>◆創意工夫を生かした教育指導の実施、主体的・対話的で深い学びに通じる実践、基礎学力、学ぶための5つの力の育成に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> カリキュラムマネジメントの実践 学力向上プランの策定と実行 自己有用感を得られる場づくり 一部教科担任制、コース別学習の実施 ユニバーサルデザインへの配慮 認めてほめて伸ばす教育の実践 	B	職員	教員として、教材研究や指導方法の工夫改善に取り組み、児童にわかる授業を提供し、学力の定着に努めている。	36.4 (38.2)	57.6 (56.0)	6.1 (2.9)	0.0 (2.9)
					児童	先生の授業は、わかりやすい。	72.0 (78.6)	22.1 (19.2)	4.8 (1.4)	1.1 (0.8)
					保護者	先生は、教材や教え方を工夫して、わかりやすい授業を行っている。	39.6 (36.1)	55.8 (57.8)	3.4 (5.0)	1.2 (1.1)
	6	<p>■東小は、コンピュータを活用する授業を推進し、充実させている。</p>	<p>◆「あげお 学びのイノベーション推進プラン」に基づく学習者用端末の活用を具体化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> OJTを含むICT研修の推進 大型モニタ、児童用PCの活用推進 プログラミング教育の実践 「chromebook」の積極的な活用 「Google Workspace」のスキルアップ 	A	職員	授業等でICT機器を活用するとともに、児童にも積極的に利用させている。	57.6 (41.2)	24.2 (47.1)	18.2 (8.8)	0.0 (2.9)
					児童	パソコンを使う授業は、楽しい。	75.0 (82.5)	18.5 (14.5)	4.9 (2.5)	1.6 (0.5)
					保護者	子供は、パソコンやタブレット、スマートフォンを使い、調べたり、まとめたりすることができる。 ※ 学校の授業でもご家庭での利用でも構いません。	40.8 (38.9)	47.4 (39.5)	7.5 (13.6)	4.3 (8.0)
	7	<p>■東小は、英語に慣れ親しみ、主体的にコミュニケーションを図れる児童が育つように、外国語教育を充実させている。</p>	<p>◆全担任が、ALTとのコミュニケーションを図り、レッスンプランを計画し授業を進行できるように実践を積む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ALTとのコミュニケーションや連携 レッスンプランに基づく授業の展開 ALTと児童のスマイルタイム等の実施 担任が主体となった授業の構成 	A	職員	外国語（英語活動、外国語活動）の指導において、T1として、主体的に授業を進行することができる。	48.5 (41.2)	39.4 (38.2)	3.0 (11.8)	9.1 (8.8)
					児童	英語の学習や英語を話したり聞いたりすることは、楽しい。	50.8 (53.3)	34.0 (32.8)	11.4 (9.6)	3.8 (4.3)
					保護者	子供は、英語に関わる学習などに関心を高めている。	33.6 (25.9)	45.1 (42.5)	18.3 (26.0)	3.0 (5.6)
8	<p>■東小は、読書に親しむ児童が育つように読書活動を推進し、充実させている。</p>	<p>◆学校図書館を活用する読書活動を充実する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせ ・学校図書館の環境整備 図書貸出の促進 (一人2冊まで・週末読書の推奨) アッピースマイル学校図書館支援員、学校応援団との連携 	A	職員	読書活動が充実するように取り組んでいる。	54.5 (67.7)	30.3 (23.5)	15.2 (8.8)	0.0 (0.0)	
				児童	本を借りたり、読書をするようになってきた。	43.4 (64.4)	31.3 (24.4)	16.1 (7.7)	9.2 (3.5)	
				保護者	子供は、読書に親しむようになってきた。	30.9 (29.1)	41.9 (34.5)	19.3 (27.7)	7.9 (8.7)	

領域	自己評価の評価規準	主な方策	自己評価	アンケート等対象者	参考とする教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容	A	B	C	D
Ⅲ 豊かな人間性を育む教育（四つの心の育成）	9	<p>■東小は、あいさつをする心が育つように指導を充実させている。</p> <p>◆年間の生活目標として、重点的に指導するとともに率先垂範する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態把握 ・日々の指導 ・朝会等 ・保護者に協力依頼 ・児童が主体となった活動 	B	職員	あいさつをする心が育つ指導に取り組み、児童は、先生や友だち、来校者に、しっかりあいさつができるようになってきている。	18.2 (14.7)	57.6 (47.0)	18.2 (32.4)	6.1 (5.9)
				児童	先生や友だち、家族、地域の方にしっかりあいさつができるようになってきた。	48.8 (57.0)	37.5 (33.0)	10.9 (8.0)	2.8 (2.0)
				保護者	子供は、家族に「おはよう」「行ってきます」「ありがとう」などの必要なあいさつができる。	52.1 (49.8)	42.3 (42.3)	4.5 (6.4)	1.1 (1.5)
	10	<p>■東小は、時間を守る心が育つように指導を充実させている。</p> <p>◆生活目標に取り上げ、重点的に指導するとともに率先垂範する。</p> <p>◆3内容6項目12の規律ある態度達成目標の取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の指導 ・授業開始、終了時刻の厳守 ・学習準備とチャイム着席の指導 	B	職員	時間を守る指導に取り組み、児童は、時間を守って行動できるようになってきている。	27.3 (26.5)	63.6 (64.7)	9.1 (8.8)	0.0 (0.0)
				児童	チャイム着席など、時間を守って行動できるようになってきた。	45.9 (51.6)	44.2 (39.7)	7.9 (6.7)	2.0 (2.0)
				保護者	子供は、時間を守って生活できるようになってきた。	32.3 (21.9)	53.2 (54.8)	12.2 (19.0)	2.3 (4.3)
	11	<p>■東小は、正しい言葉をつかう心が育つように指導を充実させている。</p> <p>◆生活目標に取り上げ、重点的に指導するとともに率先垂範する。</p> <p>◆3内容6項目12の規律ある態度達成目標の取組を推進する。</p> <p>◆場をわきまえたり、呼び捨てをしないで、ていねいな優しい言葉遣いで学習や生活ができるように指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常指導 ・授業での実践 ・道徳科の時間 ・学級指導 ・ほめる教育の推進 ・公的な場では「さん」づけを徹底 	B	職員	正しい言葉をつかう心が育つ指導に取り組み、児童は、ていねいな優しい言葉遣いで学習や生活ができるようになってきている。	15.2 (26.5)	57.6 (53.0)	24.2 (17.6)	3.0 (2.9)
				児童	ていねいで、やさしい言葉を使うなど、正しい言葉づかいができるようになってきた。	43.0 (51.9)	43.6 (37.7)	11.4 (8.4)	2.0 (2.0)
				保護者	子供は、ていねいで、やさしい言葉をつかうなど、正しい言葉遣いができるようになってきた。	27.2 (14.5)	61.0 (50.1)	17.8 (28.0)	4.0 (7.4)
	12	<p>■東小は、もくもくと丁寧に掃除をする心が育つように指導を充実させている。</p> <p>◆生活目標の年間目標に掲げ、もくもくと集中し、心をこめた掃除ができるように清掃時間の指導にあたる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の巡回指導 ・振り返りの実施 ・師弟同行 ・放送による啓発 	B	職員	黙働清掃を指導し、児童は、無言清掃に取り組めるようになってきている。	12.1 (8.8)	27.3 (41.2)	48.5 (41.2)	12.1 (8.8)
				児童	むだなおしゃべりをしないで、そうじができるようになってきた。	30.9 (47.4)	47.7 (41.0)	16.6 (9.2)	4.7 (2.4)
				保護者	子供に、物事におしゃべりをしないで集中して取り組んだり、心をこめて取り組んだりする様子が見られる。	32.8 (22.3)	51.7 (49.9)	13.9 (24.5)	1.6 (3.3)

領域	自己評価の評価規準	主な方策	自己評価	アンケート等対象者	参考とする教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容	A	B	C	D
IV 健康・安全・体力向上	13 ■東小は、保健、歯科保健、体づくりなどの健康に関する教育を充実させている。	◆感染症の防止、むし歯予防、体力向上に関わる児童の意識とスキルを高められるよう指導を充実する。 ・保健学習 ・歯みがきタイム、フッ化物洗口の実施 ・学校保健委員会の開催 ・学校医等との連携 ・体育授業の工夫	A	職員	感染症やむし歯予防、体力の向上など、健康づくりに関する指導や取組が充実するように実践している。	42.4 (58.9)	48.5 (35.3)	9.1 (2.9)	0.0 (2.9)
				児童	感染症の予防（手洗い・うがいなど）や歯みがき、外遊びなど、健康づくりの取組をしっかりと行っている。	53.4 (69.7)	39.1 (25.9)	6.2 (2.9)	1.1 (1.5)
				保護者	学校は、感染症の予防（手洗い・うがいなど）や歯みがき、運動の機会の確保など、健康づくりの取組をしっかりと行っている。	41.8 (37.7)	52.9 (56.3)	4.7 (4.7)	0.6 (1.3)
	14 ■東小は、生活安全・交通安全・災害安全の取組を充実させている。	◆けがや交通事故の防止、防災に関わる児童の意識とスキルを高められるようにする指導を充実する。 ・安全学習 ・安全点検 ・通学路点検 ・避難訓練、防災訓練、消火訓練 ・不審者侵入への対応 ・心肺蘇生法体験学習 ・自転車交通安全教室	B	職員	けがや交通事故の防止、防災など、安全に関する指導や取組が充実するように実践している。	39.4 (55.9)	45.5 (38.2)	15.2 (5.9)	0.0 (0.0)
				児童	けがや交通事故、地震、火災などから身を守るように、安全な生活に気をつけている。	65.8 (73.6)	28.2 (22.0)	4.0 (2.7)	2.0 (1.7)
				保護者	学校は、けがの防止、交通事故の防止、防災に関わる指導や取組をしっかりと行っている。	37.7 (31.1)	57.6 (62.5)	3.9 (5.1)	0.8 (1.3)
	15 ■東小は、食に関する指導を充実させ食物アレルギーによる事故防止にも丁寧に対応している。	◆バランスのとれた食事の大切さを理解させ、実践できるようにする指導を充実するとともに、食物アレルギーによる事故防止の取組を徹底する。 ・アレルギー対応マニュアルの実践 ・アレルギー対応児童の保護者面談 ・食育の充実 ・早寝 早起き 朝ご飯の啓発	A	職員	食に関する指導や食物アレルギーによる事故を未然に防ぐ取組が、充実するように実践している。	63.6 (79.4)	30.3 (20.6)	6.1 (0.0)	0.0 (0.0)
				児童	給食では、一人分の分量を残さず（体調不良の日、食べてはいけないものは除く）に食べるように努力している。	68.6 (72.5)	23.7 (19.4)	5.2 (5.7)	2.5 (2.4)
				保護者	学校は、食に関する指導を行い、食物アレルギーへの対応にも丁寧に取り組んでいる。	43.7 (43.7)	53.6 (52.7)	2.4 (3.3)	0.3 (0.3)

領域	自己評価の評価規準	主な方策	自己評価	アンケート等対象者	参考とする教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容	A	B	C	D
V 教育環境の整備	16 ■東小は、安全・衛生・美化の観点から施設や校舎内外を整頓し、整備を進めている。	◆児童が安心して学べる安全で清潔で潤いのある教育環境の点検と整備に取り組む。 ・月例安全点検及び臨時点検、点検結果への対応 ・小破修繕の実施 ・花壇の整備 ・市教育委員会と学校応援団、保護者との連携	A	職員	児童が安心して学べる安全で清潔で潤いのある教育環境の点検と整備に取り組んでいる。	54.5 (52.9)	30.3 (41.2)	15.2 (5.9)	0.0 (0.0)
				児童		-	-	-	-
				保護者	学校は、安全・衛生・美化の観点から施設・校舎内外の整頓・整備に努めている。	38.4 (32.6)	56.9 (60.7)	4.2 (6.2)	0.5 (0.5)
	17 ■東小は、教室や廊下などに適切な掲示を行い、教育環境を整備している。	◆季節や行事、学習内容・指導内容に合わせた作品の展示や掲示物の作成に取り組む。 ・彩りや構成の考慮 ・あるべき所に必要な掲示 ・ユニバーサルデザインの考慮 ・児童作品の適切な取り扱い	A	職員	適宜、教室や廊下などに適切な展示・掲示を行い、学習環境を整える実践に取り組んでいる。	48.5 (55.9)	45.5 (32.4)	6.1 (8.8)	0.0 (2.9)
				児童		-	-	-	-
				保護者	学校は、教室や廊下などに適切な掲示を行い、教育環境を整備している。	43.9 (41.8)	53.3 (54.3)	2.5 (3.4)	0.3 (0.5)
領域	自己評価の評価規準	主な方策	自己評価	アンケート等対象者	参考とする教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容	A	B	C	D
VI 保護者・地域・関係機関との連携	18 ■東小は、学校の方針や取組、児童の様子などが伝わるように積極的に保護者や地域に情報を提供している。	◆学校の方針や取組、教育活動の様子が伝わるようにホームページや便り、さくら連絡網等とおして、保護者や地域へ情報を発信する。 ・ホームページの更新 ・学校便りの充実 ・さくら連絡網の活用	A	職員	ホームページや便り、さくら連絡網などとおして、積極的に保護者や地域に情報を発信している。	45.5 (53.0)	42.4 (41.2)	12.1 (2.9)	0.0 (2.9)
				児童		-	-	-	-
				保護者	学校は、ホームページや便り、さくら連絡網などで、学校の方針や教育活動の様子などを積極的に保護者や地域に提供している。	45.0 (43.4)	51.5 (51.1)	2.7 (4.6)	0.8 (0.9)
	19 ■東小は、コミュニティ・スクールとして学校応援団（保護者や地域住民・関係団体等）の協力を生かして、学校運営や教育活動を充実させている。	◆保護者・地域の協力を仰ぎながら児童の登下校の安全確保や学習活動の充実教育環境の整備に取り組む。 ・学校運営協議会での熟議 ・PTA（おやじの会含む）、学校応援団等との連携 ・学校応援団感謝の会の工夫	A	職員	コミュニティ・スクールとして、保護者や地域、学校応援団（PTA・おやじの会を含む）の協力を得て、学校運営や教育活動に取り組んでいる。	57.6 (64.7)	30.3 (26.5)	12.1 (5.9)	0.0 (2.9)
				児童		-	-	-	-
				保護者	学校は、コミュニティ・スクールとして、保護者や地域、学校応援団（PTA・おやじの会を含む）等の協力を得て、学校運営や教育活動を充実させている。	43.2 (36.9)	56.6 (56.0)	0.1 (6.2)	0.1 (0.9)